

千年を
千年の
ちからに。

あなたの一步は、何ですか？

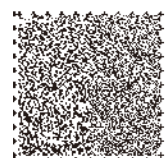
京都基本構想のだいじなところ



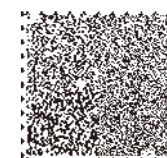
京都市

Next
100

発行：令和8年3月／総合企画局都市経営戦略室
京都市印刷物 第 072258 号



これは音声コード
(Uni-Voice コード)です



これは音声コード
(Uni-Voice コード)です



京都基本構想とは…

千年先の未来を見据え、
今後25年間の「まちの羅針盤」となるもの

世界で求められている新しい価値観

近代以降、「もっと速く」「もっと多く」「もっと成長を」といった、ものの豊かさを求めることが重視されています。
便利になった一方、人の心や自然が壊れ、経済合理性だけでは解決できない多くの課題が存在しています。
いま、世界で求められているのは、経済的な成長だけではなく、**人と人がつながり、互いに尊重し合い、地域で安全に、安心して**くらせることではないでしょうか。



それは、京都がずっと大切にしてきたこと

京都は、千年以上もの歴史と文化があり、まちと自然が近くにあり、利便性ばかりを追い求めず、人と人が支え合う暮らしを、長い時間をかけて育んできました。
つまり、世界が求める生き方の答えの一つは、京都の暮らしの中に、きっとあるはず。わたしたちは、そう信じています。



でも、だんだん失われつつある… だから。

千年以上ていねいに培ってきた京都らしさも、常に見つめなおし、手入れしていかないと、いつか無くなってしまいかもかもしれません。
京都の軸がぶれないために、これから何を大切にしていくなのでしょうか。



今後25年間の「まちの羅針盤」として、京都基本構想を作りました。

これからも大切にしていきたい3つの価値

京都基本構想では、まちの軸となる「歴史と文化の積み重ね」「自然との共生」「人とのつながり」の3つの価値を、未来に引き継いでいきたいという想いを込めています。

歴史と文化の積み重ね

「過去」の積み重ねの上に「現在」があり、ひとりひとりのくらしの積み重ねの先に「未来」があるという時間の連なりを意識しながら生きる。

自然との共生

わたしたちも自然の一部であるという謙虚さを持って、自然の恵みに感謝しながら生きる。

人とのつながり

経済合理性よりも、生身の人と人とのつながりを大切にして、互いの違いを受け容れ、互いに尊重し合いながら生きる。

「こんなまちであり続けたい」9つの将来像

京都基本構想の第四章では、9つのまちの将来像を描いています。

- ① 本物（ほんまもん）を追究・創造し続ける
- ② 世界の文化と交流し、新たな文化を創造し続ける
- ③ 「夢中」と「感動」に溢れ、学び続けられる
- ④ 平穏と静寂のもとで自己と世界に深く向き合える
- ⑤ 謙虚に自然と関わり続ける
- ⑥ 災害や感染症などの危機からしなやかに立ち直る
- ⑦ 多層的でゆるやかなつながりが続く
- ⑧ 支え合いの中で日々の生活を営める
- ⑨ ひとりひとりの個性や価値観を尊重し合える

次の千年をつくる6つのキーワード

0.1市民

京都に住んでいなくても
京都を想い、関わっていただける人々

居場所と出番

「ここに居ていい」と安心できる場所と
「だれかのため」に自分の力を発揮できる機会

京都学藝衆

ほんまもんに触れ、自分が夢中になれるものを
探究する人と人との学び合い

節度と矜持

信頼の基礎となる、伝統を守り抜く「矜持」と
互いの領分をわきまえて協働する「節度」

余白

多様な人や価値観を受け容れ
新しいものを生み出すためのゆとり

問い続ける

京都の軸をもとに、まちの未来について
みんなで対話と議論を重ねることを大切にする